## Zabbixサーバーの HAクラスタ構成

### ZABBIX 2021 Conference JAPAN

Zabbix Japan LLC ・サポートエジジニア兼トレーナ ・ 渡邉 年人

#ZabConfJp2021

わたしは誰 / whoami 有効 ZBX SNMP JMX IPMI					
アプリケーション アイテム トリガー グラフ ディスカバリルール Webシナリオ					
ホスト テンプレート IPMI	タグ マクロ インベントリ 暗号化				
	無効 マニュアル 自動				
名前	わたなべ はやと				
所属	Zabbix Japan				
やってること	サポートエンジニア 兼 トレーナー				
この登壇の意気込み	この登壇の意気込み やってやるぜ!				
好きな映画	MATRIX				
自慢出来ること	たけだバーベキューのYoutubeで10分以上インタビュー受けてる				



# High Availability(HA) とは

#ZabConfJp2021

ZABBIX 2021 Conference

## High Availability(HA)とは

- あるシステムが指定された期間、停止する事なく継続的に 稼働する機能
  - ✓[停止]単一障害点(Single Point of Failure)とは、そのコンポーネントが故障した場合、システム全体が障害となる事
  - ✓ [継続]<mark>冗長性</mark>とは、故障したコンポーネントの代わりにバックアップ コンポーネントを使用する事
  - ✓[継続]障害を可視化する必要があり、システムは障害を自動処理する ように組込まれている



## なぜZABBIXにHAが必要か

- ・簡単なZabbixサーバーの構築では、単一障害点となる
- •Zabbixサーバーが何ら禍の問題で停止した場合、アクションで の通知やリモートコマンドの実行は出来なくなる



JAPAN

#ZabConflp20

## **ZABBIX**のHA

#ZabConfJp2021



ZABBIX 2021 Conference

JAPAN

ソリューションの選択

- Zabbixに、サードパーティー製のHAソリューションを使用
  - ✓設定する為にはZabbix以外の特定の知識を必要とする
     ✓HA構築の為にツールの追加費用が発生する事がある



**ZABBIX** 2021

Conference

JAPAN

#ZabConfJp2021

## HA 利用時の問題とは

- •HA利用時の問題
  - ィスプリットブレインシンドローム発生によるサービスの停止

✓ STONITH (Shoot the Other Node in the Head)のような予期せぬ問題





### ZABBIXネイティブなHAソリューション

- ・セットアップはZabbixのドキュメントを参照し簡単に
- •HAアーキテクチャの専門知識は不要
- Zabbix公式サポート
- Zabbixデータベースを使ってノードの状態を確認





## ZABBIXクラスタの仕組み

#ZabConfJp2021

ZABBIX 2021 Conference

## HAで起動させるZABBIX

- Zabbix 6.0 alpha6から実装
- •HAモード起動の為、新しい設定パラメータを追加
- ・フロントエンドの設定は、未定義(コメントアウト)状態が必要

Zabbixサーバー設定ファイル /etc/zabbix/zabbix\_server.conf

設定値	内容	初期値
HANodeName	クラスタノード名。空でシングルサーバー起動	-
NodeAddress	ZabbixサーバーノードのIP	localhost:10051

コメントアウトが必要なZabbixフロントエンド設定ファイル /etc/zabbix/web/zabbix.conf.php

設定値	内容
ZBX_SERVER	ZabbixのWebサーバーから行うZabbixサーバーの死活監視IPアドレス
ZBX_SERVER_PORT	ZabbixサーバーのTrapperプロセス待受ポート

 $()())_{-}$ 

IAPAN

#ZabConfJp2021

ZABBIX HAのノード構成

レポートのシステム情報画面からステータスを確認



#ZabConfJp2021 JAPAN

## ZABBIX HA Managerプロセス

- 各ノードでは、 ha managerというプロセスが監視される
- アクティブ状態のZabbixサーバーでは、ha manager含めた全てのZabbixサーバー子プロセスが起動する
- スタンバイ状態のZabbixサーバーはha managerのみが子プロ セスとして起動し、待機状態となっている

# ps aux | grep zabbix\_server zabbix 2817 0.0 0.7 172452 7156 ? S 09:51 0:00 /usr/sbin/zabbix\_server -c /etc/zabbix/zabbix\_server.conf zabbix 2818 0.0 0.4 172452 4340 ? S 09:51 0:00 /usr/sbin/zabbix\_server: ha manager



### ZABBIX HA の切り替わり

 アクティブノードが停止すると、Zabbixは自動的に別のノード にフェイルオーバーする
 ※少なくとも、1つのノードがスタンバイである必要がある

# systemctl stop zabbix-server							
	停止により別ノードがアクティブに切り替わる						
名前	アドレス	最終アクセスからの時間	ステータス				
zbx-node2	zbx-node2.zabbix.intra:10051	1s	アクティブ				
zbx-node1	zbx-node1.zabbix.intra:10051	6s	停止中				
zbx-node3	zbx-node3.zabbix.intra:10051	2s	スタンバイ				



#### フェイルオーバー時の挙動

- すべてのノードが5秒ごとにステータスをレポート

   ✓ノードがシャットダウンすると、最初に検知したスタンバイノードが
  引き継ぐ
- ノードが時間内に応答しない場合
   ✓フェイルオーバー遅延時間(デフォルト1分)に達するまで待機
   ✓遅延時間を経過すると、何れかのスタンバイノードが引き継ぐ



#### フェイルオーバーチューニング

フェイルオーバー遅延時間の変更は、ランタイムコマンドを
 使用(範囲は10秒から15分)

# zabbix\_server -R ha\_set\_failover\_delay=5m
zabbix\_server [2944]: command sent successfully

#### ・停止中のノードはランタイムコマンドから削除

# zabbix\_server -R ha\_remove\_node=2
zabbix\_server [1363]: command sent successfully



#### フェイルオーバーチューニング

 ノードのIDは、ランタイムコマンド「ha\_status」実行後の zabbix\_server.logログを確認する

# zabbix_server -R ha_status							
zabbix_server [1402]: command sent successfully							
# less /var/log/zabbix/zabbix_server.log							
1231:20211112:110003.124 cluster status:							
1231:20211112:110003.124 # ID	Name	Address					
Status Last Access							
1231:20211112:110003.124 1. ckvv9gb480	001c6pvv5v97z1w	zbx-node1	zbx-				
node1.zabbix.intra:10051 standby 3s							
1231:20211112:110003.124 2. ckvvbe6pd0	0011kpveqaxdjha z	zbx-node2	zbx-				
node2.zabbix.intra:10051 standby 1s							
1231:20211112:110003.124 3. ckvw6f8bj00	)01urpvediqtjf2 zb>	k–node3	zbx-				
node3.zabbix.intra:10051 active 1s							





#ZabConfJp2021

ZABBIX 2021 Conference

## ZABBIXエージェント(パッシブ)の接続方法

• Zabbixエージェントは、全てのノードを zabbix\_agentd.conf(zabbix\_agent2.conf)のServerにカンマ 区切りで記述する必要がある

Server=zbx-node1.zabbix.intra, zbx-node2.zabbix.intra, zbx-node3.zabbix.intra



ZABBIXエージェント(アクティブ)の接続方法

• Zabbixエージェントは、全てのノードを zabbix\_agentd.conf(zabbix\_agent2.conf)のServerActiveに セミコロン区切りで記述する必要がある

ServerActive=zbx-node1.zabbix.intra; zbx-node2.zabbix.intra; zbx-node3.zabbix.intra



## ZABBIXプロキシの接続方法

 パッシブモードのプロキシは、全てのノードを zabbix\_proxy.confのServerにカンマ区切りで記述する 必要がある

Server=zbx-node1.zabbix.intra, zbx-node2.zabbix.intra, zbx-node3.zabbix.intra

 アクティブモードのプロキシは、全てのノードを zabbix\_proxy.confのServerにセミコロン区切りで記述する 必要がある

Server=zbx-node1.zabbix.intra; zbx-node2.zabbix.intra; zbx-node3.zabbix.intra



## HA設定のおさらい

- 1. すべてのノードでZabbixサーバをHAモードで起動する
- 2. フロントエンド設定ファイルのZBX\_SERVERと ZBX\_SERVER\_PORTをコメントアウトする
- 3. ZabbixエージェントのServer / ServerActiveパラメータを すべてのノードに設定
- (あれば)ZabbixプロキシのServerパラメータの指定
   SNMP TRAP等、すべてのノードへの送信や許可設定
   Enjoy!



## ZabbixJapanの冗長構成案内

- Zabbixサーバーのアクティブ-アクティブ構成
  - ✓「設定バックアップツール」を利用した設定複製
     ✓スレーブ側で不要なアクション設定等を無効化
     ✓低コスト、保守込みでZabbixサーバーの冗長構成を構築可能





#### 設定バックアップツール

#ZabConfJp202

- ・監視設定のみのバックアップ/リストア
  - ✓履歴データを残したまま以前の設定の状態へ復元
  - ✓監視設定の間違いや誤った削除をリカバリ
  - ✓履歴データをエクスポートしないため高速なバックアップとリストア
  - ✓履歴データを削除せず、リストア時に整合性を確保



**ZABBIX** 2021

Conterence

JAPAN

#### アプライアンス標準装備

- ZS-7000/ZS-5000/V000シリーズすべてに設定バックアップ ツールを標準装備
- Zabbixソフトウェア有償サポート加入者にも無償配布











0

0

00

0

ZABBIX 2021 Conference JAPAN